

「オクレンジャー」の實力 安否確認サービス 確かな信頼と実績が支える

[パスカル]

災害が発生した際、社員やその家族の安否を迅速に確認できることが最優先である。今年創業40周年を迎えるパスカルは、安否確認サービス「オクレンジャー」を2006年より提供し、緊急時でも“つながる”ことを追求したシステム開発を行ってきた。多数の自治体・企業から信頼を獲得し、同サービスが着実に支持を広げてきた理由とは。同社の代表取締役社長 井上 隆氏に話を聞いた。

安否確認システムで重要なのは“止まらない”こと

災害時には、被害状況の把握と社員・家族の安否確認が最優先課題となる。初動の情報収集や対応指示の遅れが事業復旧の妨げとなる例は決して少なくない。「大規模災害では通信途絶が容易に起こり得ます。そのような環境下でも人と人をつなげる“止まらない”連絡手段を確保しておくことが重要です。オクレンジャーは、創業から掲げる『人と人とのコミュニケーションを原点に考え行動する』という理念を体現する当社のサービスの一つです」と井上氏は語る。

オクレンジャーは、メールに依存せず、災害時でもスムーズにメッセージを送受信できるクラウドアプリケーションだ。通信環境さえあれば、PC、スマートフォン、旧来の携帯電話（フィーチャーフォン）など、どの端末でも利用できる。この安否確認システムは日本初*の特許を取得し、一般企業だけでなく地方自治体、医療機関、教育機関でも採用されており、全国累計ユーザー数は約200万人となっている。同社は信頼性のあるシステム構築を追求し、徹底的な開発を進めてきた。サーバーは国内外（国内1カ所、海外2カ所）のデータセンターに設置され、大規模災害が発生した際にも継続的な稼働を確保し、システム停止リスクを限りなくゼロに近づけている。仮に1カ所がダウンしても、迅速に立ち上がる体制を確立している点が最大の強みだ。

*平成23年3月11日登録 特許第4700502号

多様化するさまざまな災害に顧客目線でいち早く対応

災害のなかでも「風水害」は、近年日

安否確認サービス「オクレンジャー」機能一覧

標準	オプション
<ul style="list-style-type: none"> ■地震自動配信 気象庁の情報と連動、安否メッセージを自動配信 ■津波自動配信 気象庁の情報と連動、安否メッセージを自動配信 ■アプリ受信 災害時に強い専用アプリ、安否回答がスムーズに ■メール受信 フィーチャーフォン・PCユーザー向け、受信登録もカンタン ■自動集計 集計はもちろん、自動グラフ化・DLも可能 ■手動配信 日常の諸連絡にテンプレート作成・配信予約も可能 ■掲示板 画像・動画アップロード可能、災害時に情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ■気象自動配信 ・特別警報/警報/注意報 ・記録的短時間大雨情報 ・土砂災害警戒情報 ・指定河川洪水予報 ・熱中症警戒アラート ■GPS連携 従業員の位置情報を取得、安否情報の精度が上がる ■家族の安否確認 従業員と家族間で使える、家族災害掲示板 ■連絡フォーム 従業員から会社へ連絡、体調報告、有休連絡など

本に深刻な被害をもたらしている。オクレンジャーは地震だけでなく、大雨などの特別警報・注意報の自動配信にも対応しており、気象関連情報の配信種類は業界有数である。「記録的短時間大雨情報」や「土砂災害警戒情報」「指定河川洪水予報」「熱中症警戒アラート」にも迅速に対応し、発生条件やエリアの指定は市町村などで設定可能だ。全国のあらゆる地域でこの製品1つで対応できるように、随時機能を追加していく考えだ。

また、オクレンジャーの大きな特長を

井上氏は次のように語る。「どれほど優れたシステムであっても、緊急時に使えなければ意味がありません。オクレンジャーは安否確認だけでなく、連絡網としても活用できます。特にコロナ禍では、教職員たちが毎朝行われる児童の検温報告についても積極的にオクレンジャーを活用していただきました」。同社のシステムは、「人と人をつなぐ連絡手段」を核としつつ、常にユーザーのニーズを捉えた柔軟かつ迅速な開発を行い、進化を遂げてきた。

高機能なシステムは操作が煩雑でわかりにくくなる傾向にあるなか、オクレンジャーは優れた特性を持つ。初めて利用するユーザーでも直感的に扱えるシンプルなインターフェースを実装しており、マニュアルなしで手軽に利用できる。また、情報が錯綜する災害時に、誰とでも自由につながれるシステムはかえって混乱を招くため、必要な情報を対象者のみに限定し、IDに紐づけて配信、共有できる仕組みを構築している点もポイントだ。

災害時における迅速な情報共有と安否確認のための家族用災害掲示板機能（オプション）などは、同社の創業からの持続的なものづくりの思いとして、

“徹底した顧客目線”が反映されていると井上氏は語る。「現代では非対面でのコミュニケーションが当たり前となり、デジタル化による効率化が進展していますが、我々の創業の信念は変わりません。お客様に寄り添ったサービスを提供するという姿勢を大切にしているのです」。同社は、定期的なユーザーアンケートを実施し、その内容を製品開発やサポートサービスの充実に反映している。カスタマーサポート窓口は、ユーザー管理者だけでなく、一般ユーザーからの問い合わせも受け付け、スムーズな稼働とユーザー管理者の負担軽減を可能にする。

大切な命を守るため“つながる”システムを追求し続ける

災害時においては、事業継続を考える前に、何よりも人命の安全が第一である。いつ大規模な災害が発生するかわからないからこそ、企業は真摯に安全を確保するための仕組みの構築を考えねばならない。同社が目指すのは、どのような時でも絶えず連携が取れる安否確認システムを提供し続けることだ。「災害が発生した際、最初に安全を確認しなければならないのは社員とその家族です」。安否確認システムは、一般的に企業の事業継続を目的としているが、社員への「安全配慮義務」の観点でも有効である。

「我々は常に技術開発に情熱を注ぎ、人と人との心をつなぐ快適なシステムを提供します。これからも社会に貢献するため、さらなるサービス向上に取り組んでまいります」と井上氏は熱く語った。



株式会社パスカル
代表取締役社長
井上 隆 氏

オクレンジャー Safety Confirmation Service

安否確認サービス

高次元の「つながる」を追求

確かな信頼と実績
Since 2006



株式会社パスカル

〒385-0011 長野県佐久市猿久保881-8
https://www.pascal.ne.jp/